

※ 解答は、《解答欄》に書きまじょう。

ポイント

- ・ 目的に応じた書き方を考える。
- ・ 事実が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えて書く。
- ・ 互いに読み合い、意見を述べたり、自分の表現の参考にしたりする。

内田さんと山中さんは、二人が参加した動物園での職場体験の様子を、それぞれがまとめました。

【内田さんの文章】

里山動物園体験記

内田 流太

まだ来園者のいない朝七時半。里山動物園のゲート前に山中君と僕は立っていた。小学生の頃には何回か訪れた里山動物園だが、中学生になってからは来る機会がなかった。新しい仲間を迎えるに当たって、大きく改装されたのが二年前。僕にとっては、改装後初めての訪問ということになる。

僕たちは最初、指導をしてくださる竹下さんから仕事の説明を聞いた。

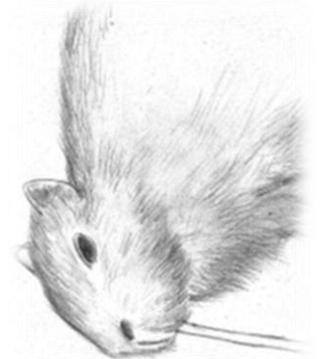
その後、レッサーパンダ舎に行った。目の前に現れたぬいぐるみのような動物に、一瞬にして心を奪われた。ふさふさのしっぽは、①バランスをとる働きにふさわしく、十分な長さがあった。

レッサーパンダの故郷は、海拔の高いところにある森だ。そこでは、主として笹の葉を食べる。しかし、動物園にいるレッサーパンダはそれだけではなく、リンゴも食べるし、ミルクも飲む。野菜も食べる。手ごろな大きさに切ったりリンゴを目の前に差し出してみた。おなかがすいていたのか、ぱくつとがぶりつき、無心に食べ始める。竹下さんは、その様子を見てうなずいた。食べ終わると、遊びの時間が始まる。遊び好きなレッサーパンダたちは、遊具があれば、何時間でも遊ぶそうだ。僕たちは、その間に寝室の掃除をした。手際よく掃除する竹下さんだが、時折手を休めて何かをじつと見ている。それに気づいた僕たちが竹下さんに近寄ると、そこにはレッサーパンダのふんがあった。それを見ていた竹下さんは、またうなずいている。

その後、今度は、ニンジン、サツマイモ、キャベツなどが入ったバケツを持った竹下さんに付いていく。行った所は、池や小さな川のあるかなり広い場所だった。よく見ると、薄茶色をした物が動いている。以前はいなかったカピバラだ。間近で見ると、不思議な姿をしている。何の仲間か聞いてみた。驚いたことに、ネズミの仲間だそうだ。成長すると、一メートルを優に超える。地球上に現存する一番大きなネズミなのだという。歯だけを見れば、なるほどネズミそのものだ。とても硬く長い前歯は、一生伸び続ける。そこで、かじって歯を削れるように石や木などが置いている。穏やかな性格で、人間にも懐くことから、最近ではペットとして飼われることもあるそうだ。

里山動物園には、五匹のカピバラがいた。ここでも竹下さんは、一匹一匹のそばに行つてうなずいている。

大きな鼻、小さな耳と目、長いまつ毛。あまりの愛らしさに触つてみたくなり、どきどきしながら背中に手を伸ばした。びっしりとつまった毛の感触は、まるで巨大なタワシだった。気持ちよさそうな顔のカピバラが前足を伸ばした。よく見ると、指の間には水かきがある。カピバ



ラ舎に池や川がある理由がよく分かった。

作業をしながら、竹下さんは動物たちのことをいろいろと教えてくれた。「地球上のすべての生物は仲間なんだ。」笑顔で語る竹下さんの言葉が心にしみた。

当初、僕は、職場体験はどこでやっても構わないと思っていた。山中君に熱心に誘われたことで、動物園を選んだだけだった。しかし、今は、はっきりと言える。動物園で職場体験をすることができてよかった。動物たちの愛らしさ、生き生きと働いている竹下さんの姿にすっかり魅せられてしまった僕は、いつか動物園で働いてみたいと思い始めた。

【山中さんの文章】

動物園の飼育員について

山中 晴人

1 目的

動物園の主役は動物たちだが、その動物たちが安心して過ごせるよう、日夜働いているのは飼育員である。動物好きの僕は、以前から飼育員の仕事に関心をもっていた。そこで、動物園の飼育員の仕事についてくわしく知りたいと考えた。

2 調査方法

- (1) 職場体験活動で、実際に飼育の仕事をする。
- (2) 動物園の飼育員にインタビューをする。

3 内容

- (1) 体験したこと
 - ア えさやり
 - ・ レッサーパンダ…笹 (葉のみ)、リンゴ、ミルク、ペレット、バナナなど
 - ・ カピバラ…ニンジン、サツマイモ、キャベツ、カボチャ、ペレットなど
 - イ 掃除
 - 朝、動物が展示場所に出た後、寝室を掃除する。そして、動物が寝室に戻ると、展示場所を掃除する。
- (2) 質問したこと
 - ア えさやりや掃除の際に気をつけていること
 - イ 飼育員の仕事の大変さ
 - ウ 飼育員の仕事の楽しさ

4 分かったこと

- 栄養を考え、動物それぞれに合った種類や量のえさを与える。
- えさを与えるときは、①与えたえさにどんなふうぶんに食いついているか、与えた量をちゃんと残さず食べているか、そして、食べているときの全体的な様子で、いつもと違うところがないかを注意深く観察する。
- 掃除をして、衛生状態のよい場所にする。また、掃除中に動物たちのふんについてしっかりと観察する。
- えさやりや掃除は、動物の健康状態を把握はあくするため大切なことである。
- 担当する動物が病気になったときは、休みの日も動物園に来て様子を見る。
- 動物と触れ合える楽しさや、新しい生命の誕生とその成長を一番身近で見守ることができる喜びがある。

5 感じたことや考えたこと

飼育員の仕事は、もの言わぬ動物との触れ合いである。そのため、気持ちを察してやらないといけない大変さがある。しかし、日々大好きな動物と接する中で、生命の不思議さや尊さを感じられる。とてもやりがいのある仕事だと思った。

【三ページ】

- 1 内田さんは、――線部①を次のように書き換えました。書き換えた部分の説明として最も適切なものを、あとのアからエまでの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

バランスをとる働きにふさわしく、胴体とはほぼ同じくらいの長さがあった。

- ア 言葉の辞書的な意味を加えている。
- イ どの程度かが分かる具体例を示している。
- ウ 科学的な説明を加えている。
- エ 明確な数値を示している。

- 2 ――線部②「与えたえさにどんなふうに食いついているか」について、【内田さんの文章】の中から、「食いつき方」に触れている一文を探し、その最初の五字を抜き出して書きなさい。

二人の文章を読んだ松下さんは、次のように述べました。

同じ職場体験を取り上げていても、内田さんは随筆風の書き方で、実際に触れ合った動物の特徴や魅力を伝えようとしています。そして、山中さんはレポートの形式で、体験したことや質問したことをまとめながら、飼育員の仕事の③（ ）を伝えようとしています。このように、伝える内容や目的に合わせて、書き方を工夫することは、とても効果的だと思います。

また、内田さんの文章では、竹下さんがうなずく様子がくり返し描かれています。しかし、その動作に込められた意味は直接説明されていません。山中さんの文章を読んで初めて、竹下さんがえさの食べ方やふんの状態について、④（ ）していることが分かりました。

- 3 ――線部③（ ）に入る適切な言葉を、【山中さんの文章】の中から四字で抜き出して書きなさい。
- 4 ――線部④（ ）に入る適切な言葉を、【山中さんの文章】の中から二十字で抜き出して書きなさい。

シート 29 正答例

- 1 イ
- 2 おなががす
- 3 やりがい
- 4 いづれも違つところがないかを注意深く観察